

まちの話 だい



2月18日 | 地紅茶が金谷に集結

市内外から紅茶の生産者が集い「第1回島田市地紅茶フェスティバル」が開催されました。

このイベントは、令和7年度に市内で開催が決定している、全国地紅茶サミットのプレイベントとして開催。27軒の農家が自慢の紅茶を提供し、訪れた人たちは飲み比べを楽しみました。参加者は「何種類も試飲することで、味の違いが分かる。お気に入りの一品を探したい」と話していました。

2月24日 | 茶畑に巨大「てのひら」現る

3月17日まで開催中の「UNMANNED 無人駅の芸術祭」では、多くの作品が披露されています。

期間中は、19組の作家によるアート作品30点を展示。茶畑の中に現れた高さ約7mの巨大な「てのひら」は、竹を素材に約2カ月かけて作り上げられました。このほかにも多くの作品が、島田市と川根本町の各エリアで展示され、訪れた人たちを楽しませていました。



2月24日 | 北欧福祉を楽しく学ぶ

山村都市交流センターささまで「真冬のエグモント in 島田」が行われました。

当日は、市内外から障害者・健常者約40人が参加。福祉先進国のデンマークからエグモント・ホイスコレン（障害者と健常者が共に生活する国民学校）の教員が来日し、2日間にわたり北欧の福祉を伝えました。参加者は体を動かして介助を体験するなど、楽しく福祉を学んでいました。